

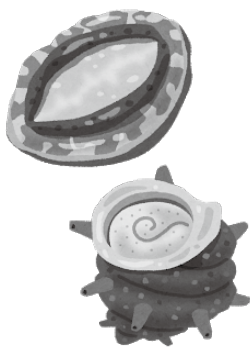
地域おこし協力隊通信 (No. 28) 1UP (ワンアップ) ?

「漁り(いざり)は未だ早い!」昼間のアナゴ取りでも大して取れない私はそう云われ続けてきました。「昼でダメなら夜はムリ!」じゃばつちえ! 行くなと云われても行きたくなるのが人間です。あちこちで漁りの話を聞くたびに「真つ暗な海ってどんな感じかな?」と想像が膨らむばかりでした。ですが昨年の暮れ、ようやくその想像がほろ苦い体験に変わりました。

集合は夜10時。焼酎を堪え、トキが来るのを待ちます。風が変わるたびに電話が鳴り集会所の変更が告げられます。東か?西か?10時前に最終決定が告げられ西海岸へ、天候は小雨、黒い海へ踏み入る不安を抱えながら頭にヘッドライト、足元に磯靴を装着していざ出発。「ガシ、ゆらつ、ガシ」とおぼつかない足取りで海へと下っていきます。満月であろう月明かりは雨雲で遮られ、頼りのヘッドライトは充電不足の大失態。先行く2人を追いかけるようにも足掛かりを見つけない一苦勞。大きく揺れる海面に平衡感覚を失い、踏み出そうにも水中の岩までの距離

がなかなか掴めません。何度も目測を誤り前後左右に手を付きながら七転八倒。2人が取りついている瀬に辿り着く頃には全身びしょ濡れ。ですが「漁りは未だ早い」を打ち消すべく、ちつぽけな経験則をフル活用して水面に這いつくばります。首を振り目線を変え気配のある穴を手探ってみますが、すぐに薄っぺらい自信が通用しない事がわかります。作戦を見学に変更!達人たちの傍で見て学んだ事は『東と西では岩の形が違う』↓なので『目の付け所は穴より割れ目』。「あぁやつぱりダメやった」と濡れた装備と少しばかりの戦利品を積み込み家路に、町へと続く街灯を小雨で滲むフロントガラス越しに眺めながら『場所が変われば流儀が変わる、変わらないのは狭い処にいるアナゴ』と応用力のない自分に言い聞かせた夜でした。

(松田)



鎌田秀一郎さんが教育委員に就任 中種子町教育委員会

鎌田秀一郎さん(田島)が、中種子町議会の同意を得て教育委員に就任(初)されました。任期は平成30年12月14日から平成34年12月13日までです。

- 中種子町教育委員名簿
- 冷水 精子(上方)
 - 新郷 正男(横町)
 - 松下 佳代(浜津脇)
 - 鎌田 秀一郎(田島)



清掃ボランティア活動 中種子町建設同志会



中種子町建設同志会(石橋正澄会長)が12月7日に、阿保線・今熊野線・永田線の町道3路線の清掃ボランティア活動を行いました。参加した22事業所37人は、路線の除草作業などを行い、気持ちの良い汗を流しました。きれいに除草された道路は気持ち良く、走行しやすい道路となり、地域の方は、大変喜んでいました。